

列車に乗った男 (2002)

L' HOMME DU TRAIN
THE MAN ON THE TRAIN

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス／ドイツ／イギリス／スイス

色彩 Color

時間 90分

初公開日 2004/04/10

公開情報 ワイズポリシー=アーティストフィルム

【キャッチコピー】

その列車は、あなたを、
叶わなかった人生の終着駅へと
旅立たせてくれる。

教授と流れ者――神から与えられた運命の乗車券を交換したふたりの男の、輝かしき終焉の刻（とき）。

【解説】

実直な初老の男とアウトローの中年男、正反対の人生を歩んできた2人が偶然出会い一緒に過ごす3日間の物語。2人の男が互いの境遇を振り返り、夢に見た別の生き方を相手の人生の中に見出し心を通わせていく様を、しみじみと切ないタッチで描いたヒューマン・ドラマ。監督は「髪結いの亭主」「橋の上の娘」のパトリス・ルコント。主演は「ロスト・イン・ラ・マンチャ」のジャン・ロシュフォール、「ゴダールの探偵」のジョニー・アリディ。

シーズン・オフのリゾート地。くたびれた革ジャン姿の中年男ミランが列車から降り立つ。頭痛がひどいのか、顔をしかめドラッグストアへと急ぐ。店でアスピリンを買ったミランは、そこで狭心症の薬を買おうとしていた初老の男マネスキエと知り合う。そして、ひよんなことからマネスキエの自宅に泊めてもらうことになる。マネスキエは定年を迎え、街から出ることもなく、少年に詩の個人教授をするだけの平々凡々な日々を過ごしていた。一方のミランは流浪のアウトロー。そんな対照的な2人の間に、やがて奇妙な友情が芽生えていくのだが…。

【クレジット】

監督	パトリス・ルコント	Patrice Leconte	
製作	フィリップ・カルカソンヌ	Philippe Carcassonne	
脚本	クロード・クロッツ	Claude Klotz	
撮影	ジャン＝マリー・ドルージュ	Jean-Marie Dreujou	
音楽	パスカル・エステーヴ	Pascal Esteve	
出演	ジャン・ロシュフォール	Jean Rochefort	マネスキエ
	ジョニー・アリディ	Johnny Hallyday	ミラン
	ジャン＝フランソワ・ステヴナン	Jean-Francois Stevenin	ルイジ
	チャーリー・ネルソン	Charlie Nelson	マックス
	パスカル・パルマンティエ	Pascal Parmentier	
	イザベル・プティ＝ジャック	Isabelle Petit-Jacques	
	エディット・スコブ	Edith Scob	